

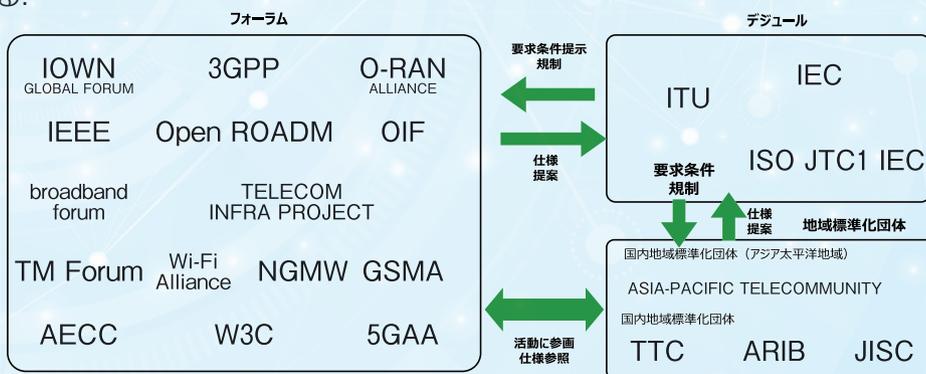
国際標準化動向特集

価値観が目まぐるしく変化しさらに多様化していく現代において、安定した市場を確保し事業の維持と発展の予見可能性を高めることは企業活動にとって喫緊の課題であり、国際標準化への積極的な関与がこれまで以上に重要となっている。本特集では、NTTグループの国際標準化動向について紹介する。

国際標準化動向特集発行にあたって

10

特集記事の導入として、国際標準化の歴史的な背景や経済的な利益について、また昨今の国際標準化を取り巻く動向やNTTグループの取り組みの全体概要について紹介する。



固定網関連技術の標準化動向

14

ITU-T (International Telecommunication Union-Telecommunication Standardization Sector) SG15における伝送網技術および光部品技術の国際標準化動向についてNTTの活動を紹介するとともに、関連する国際標準化団体等の取り組みを紹介する。

国際標準化

固定通信網

無線通信網

通信品質・環境影響評価

符号化・セキュリティ

無線通信関連の標準化動向 ————— 20

モバイル通信，衛星通信，固定無線，電波伝搬の標準化についてNTTグループの活動内容，および最近の動向を紹介する。

環境・オペレーション関連技術の標準化動向 ————— 25

アプリケーションサービス品質に関する指標の標準化，ネットワークサービスの促進に向けた活動，電磁妨害波や雷サージからの通信設備の防護，気候変動・循環型経済に関する活動，および標準化動向について紹介する。

アプリケーション・サービス関連技術の標準化動向 ————— 29

マルチメディア符号化・伝送分野のISO (International Organization for Standardization) /IEC (International Electrotechnical Commission) JTC (Joint Technical Committee) 1/SC (Subcommittee) 29, ITU-T SG 16における標準化動向について紹介する。

主役登場 長尾 慈郎 / 小鯛 航太 / 山本 浩司 (NTT研究企画部門) — 34

NTTグループの標準化ハブをめざして